

【機械・ロボット科2年】 C A D / C A M 実習



令和2年7月、機械・ロボット科2年生の実習において、C A D / C A M 技術の習得を行っています。

はじめにNCプログラムで加工プログラムを作成し、シュミレーションを行います。その後、C A D で図面を作成しC A M でNCプログラムを作成する方法を習得します。

今回は、実際に江津工業高校の印章をC A D / C A M で作成し、そのデータからNCプログラムを作成しマシニングセンタに転送して加工します。

CAM(computer aided manufacturing)とは

製品の製造を行うために、CAD で作成された形状データを入力データとして、加工用のNCプログラム作成などの生産準備全般をコンピュータ上で行う為のシステム。

出力されたデータは、工作機械に送られて実際の加工が行われる。

NC 加工 (numerical control machining) とは

数値制御 (NC) による機械の加工法で、切削用工具の刃先の動作を座標値によって定義し、その情報をもとに工作機械に内蔵されたサーボモータが動くことによって工具や被加工物が動作し、加工が行われる。加工動作情報を NC 装置へ入力する必要がある、この情報を記述したものを、NC 加工 NC プログラムと呼ぶ。